

平成 22 年度の主な事業

I. 将来ビジョンを描きます

将来ビジョン検討事業費（新規）
52 万円

総合計画の成果検証・調査を行い、その結果等に基づき、課題や住民ニーズを探るワークショップを設置し、将来ビジョンを検討します。

II. 所得を増やします

観光産業拠点特別区推進事業費（新規）30 万円

「角館」「田沢湖畔」「乳頭・高原・玉川・水沢」を観光産業の拠点として推進するための戦略会議を設置します。



低炭素化推進事業費（新規）
2,500 万円

仙北市環境保全センター、ごみ処理施設の屋根に 10KW 規模のソーラーパネルを設置して発電を行います。

緊急雇用等対策事業費（新規）
1 億 1,573 万円

国の緊急雇用関係の基金を活用し、臨時的・一時的つなぎ就業機会の提供及び安定的な雇用機会の創出を図ります。

（緊急雇用対策室）

緊急雇用助成金（新規）
650 万円

新規に労働者を雇用した事業主に対し、一定の要件のもとに雇用助成金を交付します。

（緊急雇用対策室）

緊急雇用維持支援事業費補助金（新規）750 万円

雇用する労働者を一時的に休業させた場合、休業等に係る手当の一部を補助し、解雇予防や雇用維持を図ります。

（緊急雇用対策室）

農業夢プラン応援事業費
2,128 万円

意欲ある担い手の経営をさらに発展させるため、多角化に向けた取り組みを総合的に支援します。

（農山村活性化課）

元気な仙北農業ステップアップ推進事業費（新規）200 万円

地域を担う農業者の育成を図り、新たに認定農業者等のステップアップを推進します。

（農山村活性化課）

“所得を生む玉手箱”総合産業研究所費（新規）379 万円

米、野菜、山菜等を原料に商品開発を行い、地場産作物の栽培需要を高めます。また、マーケティング業務を行い、売れる農林畜水産物の拡大を図ると共に、在来野菜や果実の種子確保、有望品種の試験栽培、適地選定

などを行い、市民の所得向上に努めます。



環境保全型農業推進施設整備事業費補助金（新規）100 万円

家畜排せつ物の適正処理と、良質な堆肥を耕種農家等に供給するため簡易堆肥舎を整備します。

（農山村活性化課）

木質バイオマス施設管理運営費（新規）3,461 万円

石油の代替エネルギーとして、木質チップを燃料としたシステムを稼動し、介護老人保健施設にしき園と西木温泉クリオンに熱と電気を供給します。



市有林造林保育費 1,300 万円

山地の保全と資産価値の増加を目的に、造林した秋田スギの保育並びに活用を図ります。

森林整備地域活動支援交付金事業費 3,362 万円

計画的かつ一体的な森林施業の実施に不可欠な地域活動に対し、交付金を交付します。

仙北市推奨乾燥材利用促進事業費補助金（新規）400 万円

仙北市内で生産された優良な構造用乾燥材の普及促進を図ります。（農山村活性化課）



仙北市商工会補助金 1,170 万円

地域小規模事業者の指導団体としての商工会への補助金です。

東アジア観光宣伝・誘客事業費（新規）247 万円

韓国・台湾などに出向き、受け入れ体制等について詳しい情報を発信し、宿泊まで結びつけた滞在型の誘客を図ります。

がんばれ合宿応援事業費（新規）226 万円

仙北市内の宿泊施設を利用し、合宿・ゼミ等を行う高校・短大・大学の生徒または、学生の団体に補助し、宿泊数増を図ります。（観光課）

住宅リフォーム促進事業費補助金（新規）3,255 万円

市民生活の向上及び地域経済の活性化を図るため、住宅リフォーム及び下水道接続に係る費用に対し補助金を交付します。（都市整備課）

Ⅲ. 医療を再生し福祉を充実します

医師確保対策事業費（新規）192 万円

- ①関連病院及び関係機関への医師招へい活動を推進します。
- ②仙北市独自の魅力ある医師等修学資金貸与条例を創設します。

母子保健対策費 2,337 万円

母性及び乳幼児の健康保持増進を図り、母子保健の向上を目指します。

健康増進事業費 3,452 万円

市民の健康増進のため健康相談事業、集団検診事業（各種がん検診等）などの各種事業を行います。

大腸がん予防事業費

1,207 万円

「大腸内視鏡検診の有効性評価のためのランダム化試験」の2年目にあたり、市民への研究参加を勧め、大腸がん死亡率の低減を目指します。

Ⅳ. 市民分権を進めます

地域運営体活動推進費交付金（モデル）（新規）500 万円

市民、ボランティア、NPO 法人等による地域運営体が決定する地域の活動に対し財政支援を行います。（政策推進課）

Ⅴ. 行政改革を断行します

みんなの庁舎検討事業費（新規）81 万円

まちづくりの視点からの庁舎

整備検討を目的に、公募市民を含めた検討委員会を設置し、庁舎の役割、機能等について検討を行います。

Ⅵ. 次世代育成に力を注ぎます

大学等仙北キャンパス誘致事業費（新規）53 万円

次世代の育成のため、より良い教育環境の整備を目的に、大学等キャンパスを誘致します。

明日の県立高校検討事業費（新規）60 万円

市内の県立高校に関し、望ましい教育環境について検討することを目的に、公募市民を含めた検討委員会を設置し、学校施設のあり方、教育内容等について検討を行います。

複式学級指導支援員派遣事業費（新規）381 万円

中川小学校と白岩小学校の複式授業を解消するための非常勤講師を各学校に派遣します。

神代小学校建設事業費

8,705 万円

神代小学校改築工事を平成20年度から平成22年度まで3カ年計画で行っています。



神代小学校内

教育コンピューター推進事業費
1,777 万円

市内小中学校に教育用コンピューターを導入し、IT 授業を推進します。

西明寺中学校グラウンド建設事業費 2 億 746 万円

中学校教育環境の整備と学校開放による市民の健康づくりのため、西明寺中学校グラウンド整備を行います。

放課後児童対策事業費
1,388 万円

放課後児童クラブの 4 クラブ開設・運営を行います。

子ども読書活動推進事業費（新規）267 万円

子どもの読書活動を支援するため、学校図書館との連携を強化します。



Ⅶ. 生活を守る仕組みを強化します

地上デジタル難視聴整備事業費（新規）4,208 万円

地理的、地形的な条件により

地上デジタル放送を良好に受信できない地域を有線共聴施設で整備し、難視聴地域の解消を図ります。（総合情報センター）



農地・水・農村環境保全向上支援事業費 2,643 万円

農業者や地域住民を中心とし、一体となって資源や農村環境の保全活動に取り組みます。（農山村活性化課）



雪寒地域建設機械整備費
4,521 万円

冬期間における市民の通勤・通学路の確保と安全を守るため、除雪機械を更新します。

安心・安全道路維持整備費（新規）303 万円

歩行者が、安心して安全に散歩や散策ができるように、歩道の段差の解消や修繕等を行います。

道路新設改良費
3 億 3,136 万円

歩行者や交通量に配慮した安心・安全な市道の整備を進めます。

河川改良費 235 万円

市管理の河川の改修等で水害による被害を未然に防止するための整備を行います。

都市計画街路見直し事業費（新規）462 万円

市内の都市計画街路について、路線の有効性を検討し、長期未着手区間のある道路を見直し、道路網の点検を行います。

岩瀬北野線調査事業費（新規）432 万円

未完成区間（内川橋～横町橋）の事業実施に向けた調査を行います。

消防施設整備事業費
1,461 万円

老朽化の著しい小型動力ポンプ付積載車、小型動力ポンプを更新します。

公共下水道事業費（下水道事業特別会）2 億 6,372 万円

河川等の水質改善のため幹線管渠の整備を行います。



浄化槽整備事業費（浄化槽事業特別会計）4,478万円

河川等の水質改善のため浄化槽整備を行います。（下水道課）

西明寺地区簡易水道拡張事業費（簡易水道事業特別会計）（新規）6,740万円

西明寺地区簡易水道に隣接する田沢湖角館東前郷地区の一部に事業区域を拡張します。

Ⅷ. 市民参加で政策を実現します

地域カステップアップ事業費（新規）165万円のうち11万円

市長公約の実効性を担保するために、公約の項目ごとに市民や有識者などにより、達成度の検証・管理を行う「公約検証委員会」を設置します。

機構改革により組織再編されます

【21年度】会計を除く市長部局 7部29課+29所属機関

↓
【22年度】会計を除く市長部局 5部23課+31所属機関

再編となる部課（再編部課抜粋）

21年度の組織	22年度の組織
総務部 企画政策課 行政改革推進室 重点プロジェクト推進室 病院経営改革推進室 市民福祉部 福祉事務所 福祉施設民営化推進室	総務部 政策推進課 （総務班、行財政改革推進班、 病院・医療改革推進班） 企画振興課 （企画振興係、情報統計係、 地域交通支援係）
産業観光部 農林課 木質バイオマスエネルギー室 商工課 緊急雇用対策室 観光課	農林部 農山村活性課 総合産業研究室 観光商工部 商工課 緊急雇用対策室 観光課
田沢湖地域センター 総合窓口課 角館地域センター 総合窓口課 西木地域センター 総合窓口課	市民福祉部へ 各地域センターは課として存続 総合窓口課の名称を廃止 22年度から田沢湖地域センターの担当は、田沢地区、生保内地区となります。 神代地区については、それぞれの担当課へ相談願います。